

車載用リアビジョンカメラ

RC11C

取付・取扱説明書

このたびは、クラリオン商品をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

- 安全に正しくご利用していただくため、ご使用の前にこの「取付・取扱説明書」をよくお読みください。
- 保証書（別添）は、お買い求めの販売店で記入いたしますので、内容をよくご確認のうえ、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

安全に正しくお使いいただくために

絵表示について

この取付説明書の表示では、製品を安全に正しく取り付け/使用していただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

**警告**

この表示を無視して、誤った取り付け/使用をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

**注意**

この表示を無視して、誤った取り付け/使用をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

	△記号は警告・注意を促す内容があることを告げるものです。
	○記号は禁止の行為であることを告げるものです。 図の中には具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

安全上のご注意

- 安全のため、ご使用の前に「取付・取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- お読みになったあとはいつでも見られる所（グローブボックス等）に必ず保管してください。

■ 取り付け上のご注意

**警告**

●本製品は車載用後方確認システム用のカメラです…
その他の用途には使用しない。



●配線作業中は、バッテリーのマイナス側ケーブルを外す…
ショート事故による感電やケガの原因となります。



●本製品を分解したり、改造しない…
事故や火災、感電の原因となります。



●車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類やタンク、電気配線などの位置を確認のうえ、これらと干渉や接触することがないよう注意する。また、加工部のサビ止めや浸水防止の処置を施す…
火災や感電などの原因となります。



●接続コード類の配線は高熱部を避けて行う…
コード類の被覆が溶けてショートし、事故や火災の原因となります。特にエンジンルーム内の配線には注意してください。



●コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープなどでまとめておく…
ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻付くと事故の原因となります。





**注意**

●本製品の取り付けおよび取り付けの変更は、安全のため必ずお買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口に依頼する…
専門技術と経験が必要です。



●取付説明書で指定された通りに接続をする…
正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。



●必ず付属の部品を指定通り使用する…
指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品をいためたり、しっかりと固定できずに外れたりして、事故や故障などの原因となることがあります。



●カメラを取り付ける場合は、カメラが車幅、または車の前後からはみ出さない場所に取り付ける…
歩行者などに接触して事故の原因となることがあります。



●車体に穴を開けてコード類を配線するときは、絶縁性グロメットを使用する…
開口部とコード類との接触により、すりきれてショートし、事故や火災の原因となることがあります。



●車体に穴を開けて機器の取り付けあるいはコードの配線を行ったときは、開けた穴の隙間やコードとの隙間をシリコン接着剤などで密封する…
排気ガスや水などが隙間から室内に侵入して事故などの原因となることがあります。



●カメラケーブルに傷をつけない…
傷の部分からカメラ内部に湿気や水が吸い込まれ故障、火災、感電の原因となることがあります。



●車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコード類をはさみ込まないように配線する…
断線やショートにより、事故や感電、火災の原因となることがあります。



●コード類の配線終了後は、コード類をクランプや絶縁テープで固定する…
コード類が車体部分との接触により、すりきれてショートし、事故や火災の原因となることがあります。



■ 取り付けを完了したら

**警告**

●取り付けと配線が終わったら、ブレーキやライト、ホーンなどの電装品が元通り、正常に動作することを確認する…
正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、事故の原因となります。



■ 使用上のご注意

**警告**

●モニター画面だけを見ながら走行することは絶対にしない…
モニターは、障害物などの確認のための補助装置であり、映し出す範囲には限界があります。実際の距離と感覚が異なるので、必ず目視による安全確認をしながら走行してください。カメラの死角になっている人や物にぶつかる恐れがあり、重大事故の原因となります。



●ゆっくりした速度で後退する…
後方モニターの映像は広角レンズを使用しています。実際の距離と感覚が異なるので、速度を上げての後退は人や物にぶつかる恐れがあり、重大事故の原因となります。



●本製品を分解したり、改造しない…
事故や火災、感電の原因となります。



●画面部が映らないなどの故障状態で使用しない…
事故や火災、感電の原因となります。そのような場合は、必ずお買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談してください。



●万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な臭いがするなどの異常が起こったときは、ただちに使用を中止し、必ずお買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談する…
そのまま使用すると事故や火災、感電の原因となります。



**注意**

●後方モニターの映像はバックミラーやサイドミラーで見ると同じ左右反転させた映像です。また、車種により、見え方が異なります…
十分にご注意下さい。



●本製品を車載用以外には使用しない…
感電やケガの原因となることがあります。



●本製品には高圧洗車(洗車機)をしない…
カメラ部は精密機械のため、強い衝撃を与えないでください。故障や破損して火災・感電の原因となることがあります。



●取付ネジは時々点検し、ゆるみがある場合は増し締めをする…
外れて落下し、歩行者等に接触したり、事故の原因となることがあります。



**特長**

■ お手持ちのナビやモニターに接続できる RCA タイプ

■ 高感度 1/4 インチカラー CMOS センサー搭載

■ 水平約 130 度の広角レンズにより、ワイドなリアビュー視界

■ F 値 2.2 の高精細ガラスレンズ採用により、高画質を実現

■ 後方確認に最適な、バックミラー同様に左右反転した鏡像画像

■ 小型軽量で取り付けが容易

■ カメラに強い光が映りこんでも、スミア（画面に発生する縦の光の帯）が発生しない

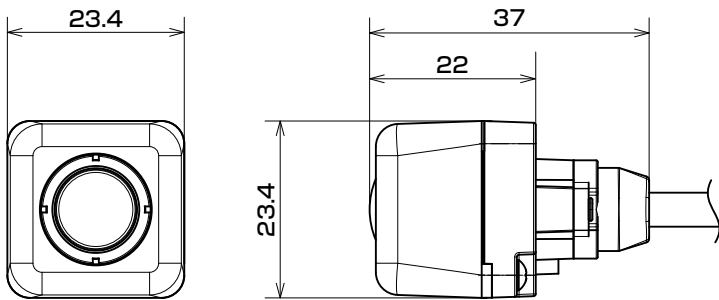
■ 電源 BOX 不要で取り付けが容易

故障かな？と思われるまえに

- 次のような場合は故障でないことがありますので、修理を依頼される前にもう一度次の点をお調べください。

症 状	原 因	処 置
映像が映らない	配線が不完全	結線をもう一度確認し、正しく配線をしてください
	ヒューズが切れている	延長ケーブルのヒューズを確認してください。 ヒューズが切れている場合は、同じ容量（0.5A）のヒューズと交換してください。 再度切れる場合は、お買い求めの販売店、または最寄の弊社修理相談窓口にご相談ください。
映像の映りが悪い	レンズが汚れている	水を含ませた柔らかい布などで軽く拭いて汚れを取り除いてください。 乾いた布で強くこすると傷が付くことがありますので、ご注意ください。
	太陽光や他車のヘッドライトの光がレンズにあたっている	レンズにあたっている光が消えれば、もとに戻ります。
	周囲が暗すぎる	夜間または暗所では映りが悪くなる場合がありますが、明るい場所になればもとに戻ります。
	周囲の明るさが急激に変化した	・明るい場所から暗い場所へ移動時（特に炎天下の日向から日陰へ移動した時など）に画面が暗くなる場合がありますが、しばらくするともとに戻ります。 ・暗い場所から明るい場所へ移動時（特に炎天下に長時間駐車した後、日陰から日向へ移動した時など）に画面が明るくなりすぎる場合がありますが、しばらくするともとに戻ります。

仕 様	
映像素子	： 1/4 インチカラー CMOS
映像出力	： NTSC 鏡像
有効画素数	： 約 30 万画素
画 角	： 水平 約 130° 垂直 約 99°
走査方式	： 2:1 インターレス 525 本
絞り方式	： 電子アイリス
同期方式	： 内部同期
レンズ部	： 広角 焦点距離 f=1.516mm F 値 2.2
IR カットフィルター	： 有り
水平解像度	： 350 本 TV 本以上（中心部）
照度範囲	： 約 1.5 lx ～ 10 万 lx
SN 比	： 36db 以上（AGC-ON）
動作温度範囲	： - 30℃～+ 70℃
防水構造	： JIS-D0203 S2 レベル準拠
電源電圧	： DC12V(9V ～ 16V)
接地方式	： マイナス接地
消費電流	： 60mA 以下
質 量	： 約 130 g（本体コード、ブラケット含む）
外形寸法（W×H×D）	： 23.4(W) × 23.4(H) × 22(D) mm （コネクタ部 / 突起物は含まず）
ケーブル長	： 本体 3m / 延長コード 5m（計 8m）同梱



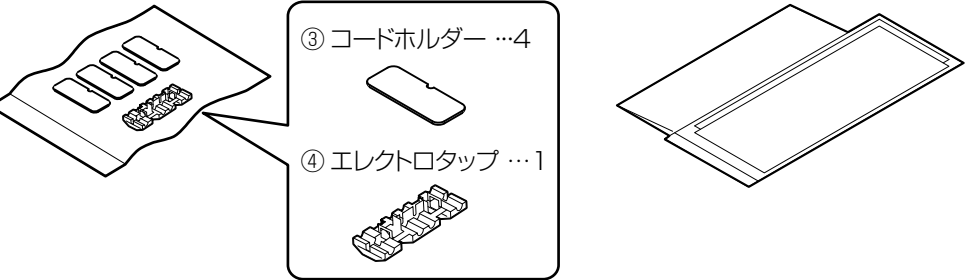
**製品構成**

① カメラ本体(コード部3m)

② 延長コード(5m)

**付属品袋**

⑤ 書類一式(保証書・取付説明書)



アフターサービスについて

- 保証書
この商品には、保証書が添付されています。お買い求めの際、販売店にて所定事項に記入いたしますので、記入および記載事項をご確認のうえ、大切に保管してください。なお、保証書は再発行致しませんので、ご注意ください。

- 保証期間
お買い求めの日より 1 年間です。

- 万一故障が発生した場合
保証期間中に、正常な使用状態で故障が発生した場合には、保証書の記載内容に基づいて、無料で修理いたします。ただし、脱着にともなう工賃は、お客様のご負担となります。お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。

- 保証期間経過後の修理について
修理することにより性能維持できる場合には、お客様のご要望により、有料で修理いたします。お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。

- 補習用性能部品の最低保有期間について
このカメラの補習用性能部品（機能維持のために必要な部品）の最低保有期間は製造打ち切り後 6 年間です。

クラリオン株式会社 〒330-0081 埼玉県さいたま市中央区新都心7番地2 Clarion ホームページ http://www.clarion.com	
ご購入年月日	年 月 日
ご購入店名	TEL.
製造番号	

*お客様へ… ご購入年月日、ご購入店名などを記入されると、あとでお問い合わせされるときに便利です。

取り付け / 接続方法

■取付作業の前に

- 取り付け、配線の前に必ず安全上の注意をお読みいただき、正しく作業してください。
- 事前にガムテープ（布テープ）などを使ってカメラを仮止めし、モニターで映像を確認してから取付位置を決めてください

⚠ 警 告

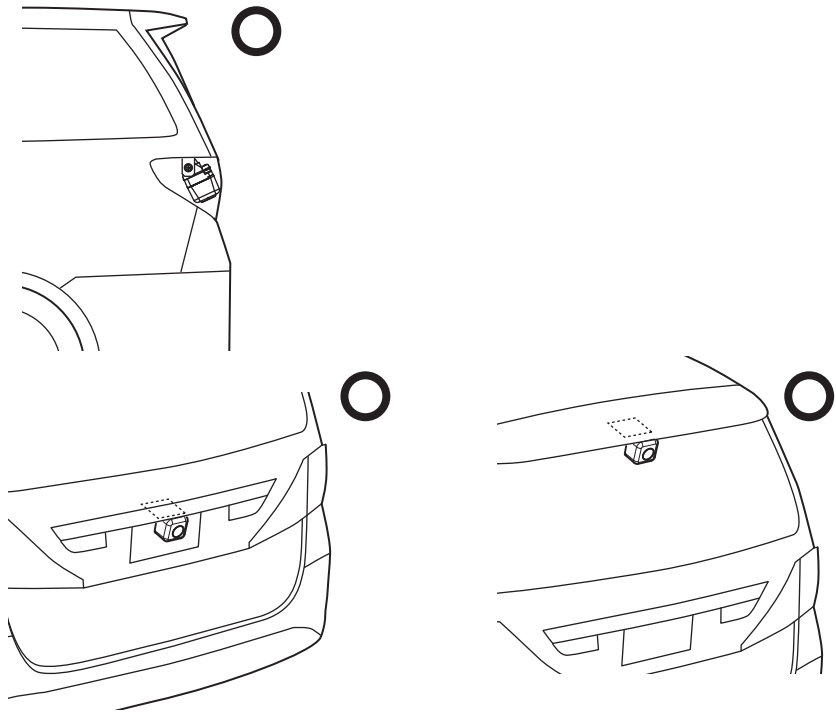
・配線作業中は、バッテリーのマイナス側のケーブルを外してください。
ショート事故による感電やケガの原因となります。
また、ショート事故による機器内部の部品を破損する原因となります。

■両面テープによる取り付け時のご注意

- 両面テープの粘着力低下を防止するために、以下の事項をお守りください。
 - ・ 極力天気の良い日中に取り付ける。
 - ・ 取り付け後、24 時間以内は水気（水、雨、霧、雪など）にあてたり、無理な力を加えない。
 - ・ 取り付け時の気温が低いとき（20℃以下）は、ブラケットの両面テープと取付表面をヘヤードライヤーなどで暖める。
 - ・ ブラケットの両面テープは、指で触ったり、貼り直したりしない。
- はっ水加工（フッ素樹脂処理など）されたボディやガラスには取り付けないでください。
- リアワイパーの拭き取り範囲やウォッシャーの噴射口付近には取り付けないでください。

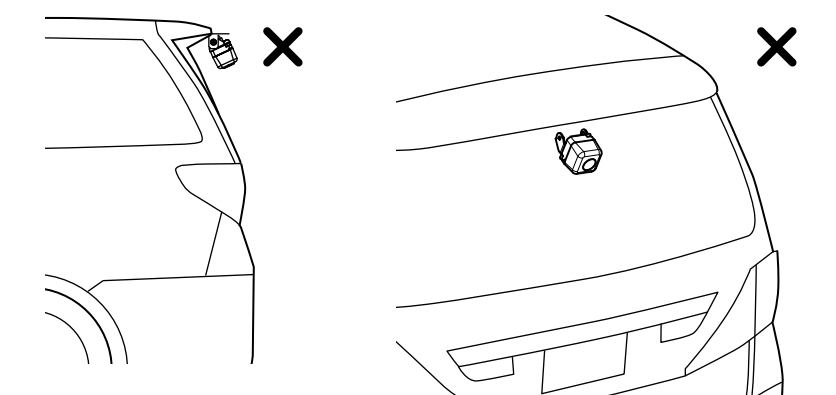
■バックカメラの正しい取付例

- カメラ本体はバックドアガーニッシュの奥側に隠れるように取り付けてください。



■バックカメラの誤った取付例

- カメラ本体が車両に対し、隠れない場合は不適合となりますのでお取り付けなされないようお願いいたします。



■リアガーニッシュにカメラを取り付ける

取付例を参照し、カメラ及びカメラブラケットが車体へ干渉しないことを確認して、取付位置を決めてください。

1. カメラの取付位置を確認する

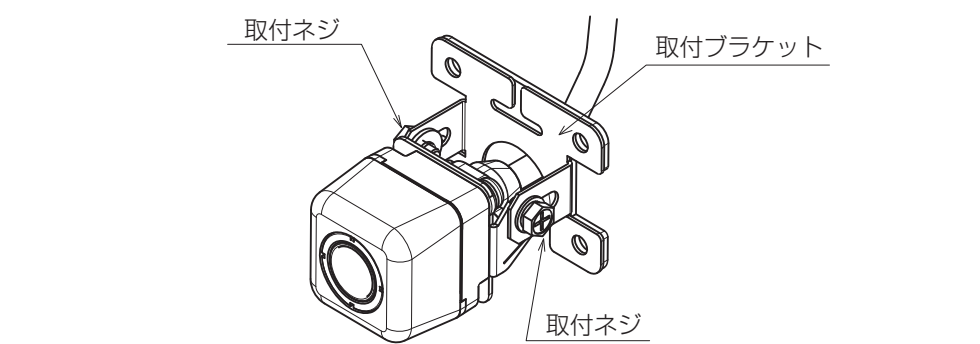
車輛の取り付けたい位置に合わせてカメラの角度を調整します。
この時、カメラが車体や車輛部品などに干渉していないことを確認してください。
取付位置は凹凸がない、平らな面を選びカメラ取付ブラケットの両面テープ面が密着するか確認してください。

⚠ 注 意

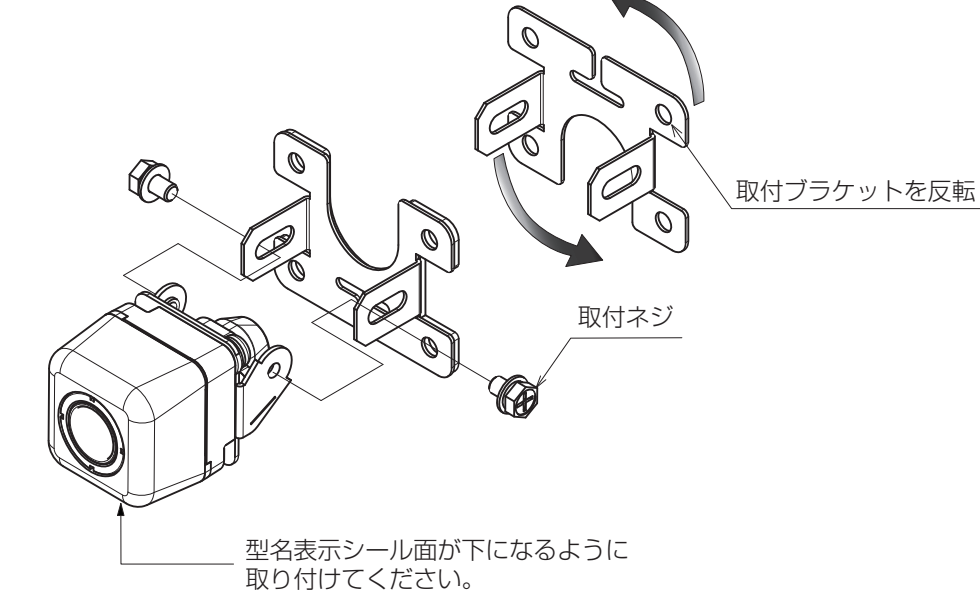
- ・ ナンバープレートにカメラが、かからないように取り付けてください。
- ・ カメラはできるだけ車体の中心に取り付けるようにしてください。
左右に大きくずれて取り付けた場合、モニター画面に映し出される映像とイメージが異なる場合があります。
- ・ バックドアやトランクの開閉時にカメラや、ケーブルがあたらないことを確認してください。

2. カメラブラケットを車体に取り付ける。

カメラブラケットの横の取付ネジをゆるめ、カメラの角度を調整して取付ネジを締めてください。
車体のブラケット取付面の汚れやほこりを拭き取ってください。
取付ブラケットの両面テープ面の保護紙をはがし、車体に取り付けます。



※ 取付位置によりコードがカメラと干渉する場合は、取付ネジをはずし取付ブラケットの向きを 180 度反転して、再度取付ネジで取り付けてください。

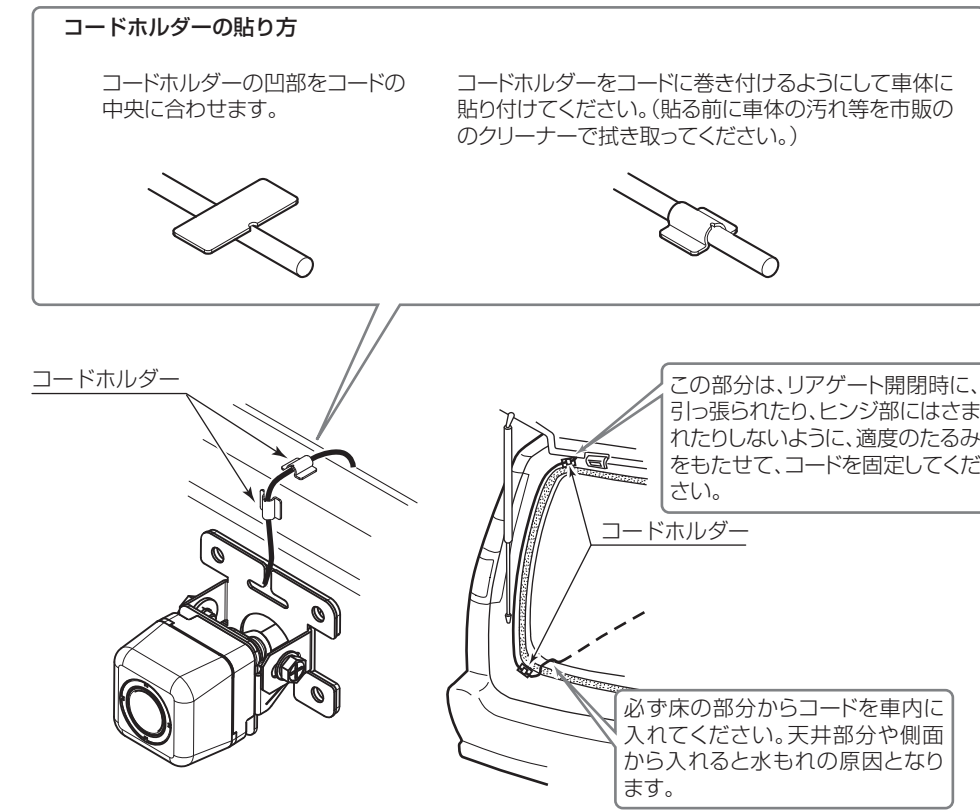


⚠ 注 意

- ・ カメラの位置を調整する際には、カメラから出ているケーブルが突っ張りすぎたり、たるみすぎないように注意してください。
- ・ 時々取付ネジの緩みがないか確認し、緩みがある場合は増し締めをしてください。
- ・ カメラの向きを調整した場合、モニターまたは AV-Navi システムの画面などに映る映像範囲が変わります。後退する際には必ず目視にて後退するようにしてください。

3. コードを配線する

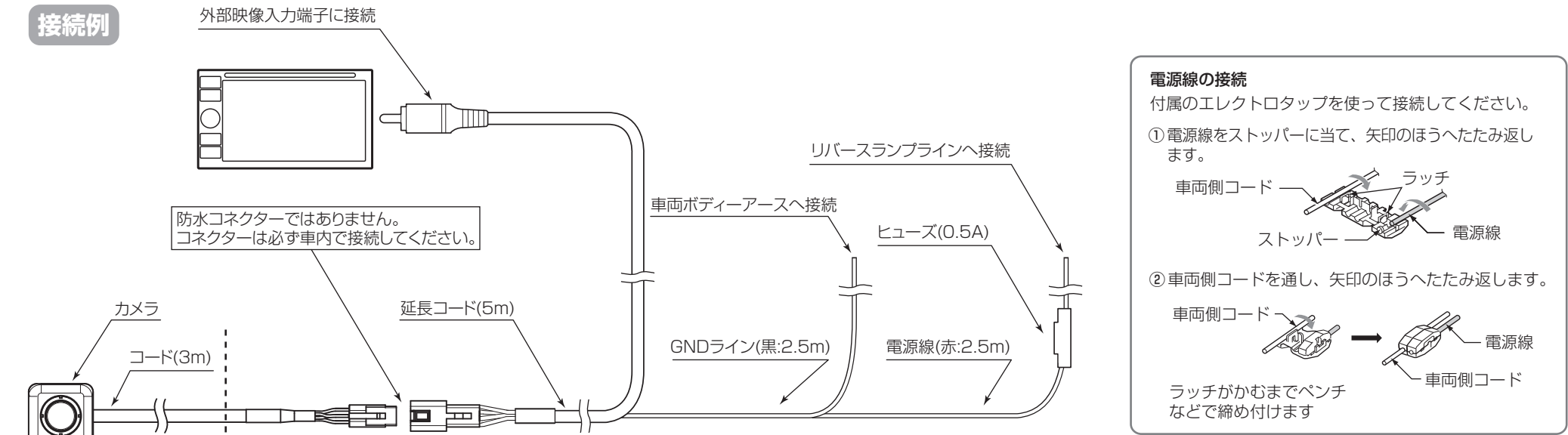
- ① カメラのコードを車内に引き込み、ウェザーストリップにそって配線します。ヒンジ部やダンパーなどにはさみ込まないように付属のコードホルダーを使用して固定します。
- ② 付属の延長コードを使用して、車内の床（カーペットの下など）をわけて配線します。



⚠ 注 意

- 設置場所がなくリアウインドウなどに取り付ける時は、右記の「⚠重要 車載用リアビジョンカメラの取り付けに関するご注意」をよくご覧ください。
- ・ 取付例を参考にし、車体の幅、長さからはみ出さないことを確認してください。
- ・ カメラをやむを得ずリアウインドウに取り付ける場合は、視界を妨げない位置、リアワイパーの拭き取り範囲、ウォッシャーの噴射口付近には取り付けないでください。

接続例



電源線の接続

付属のエレクトロタップを使って接続してください。

① 電源線をストッパーに当て、矢印のほうへたみ返します。

② 車両側コードを通し、矢印のほうへたみ返します。

ラッチがかむまでベンチなどで締め付けます

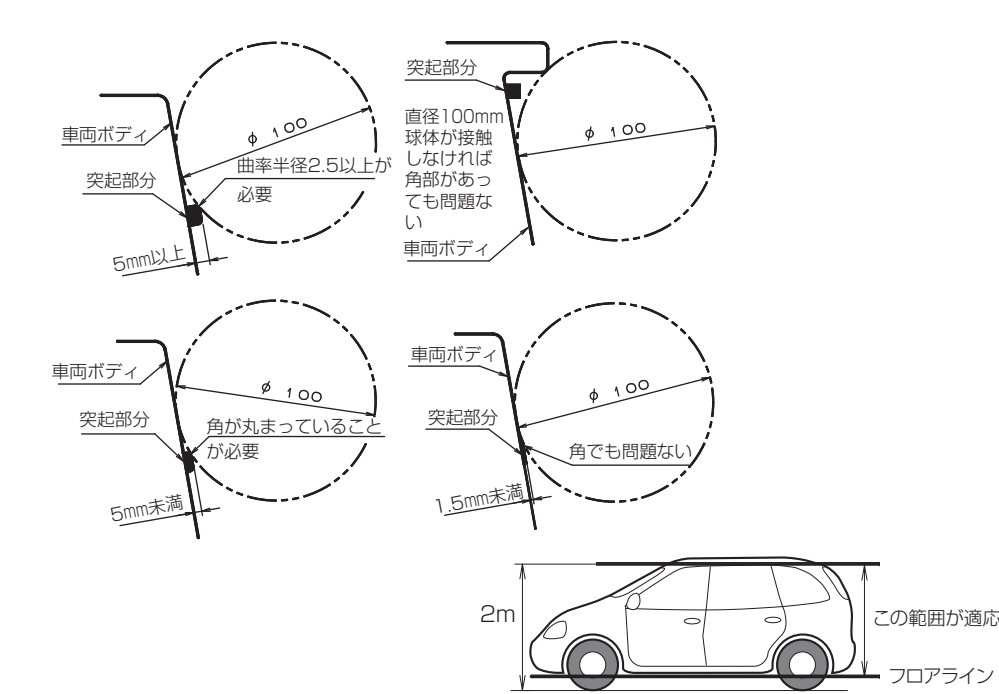
⚠ 重要 車載用リアビジョンカメラの取り付けに関するご注意

法規の改正

- 2009 年 1 月 1 日以降に製作された乗車定員 10 人未満の乗用車に車載カメラ等の外装品を取り付ける際、国土交通省公布の「外装の技術基準（※）」に準拠した取り付けが必要となります。取付位置に一部制限が発生する場合がありますのでご注意下さい。

「外装の技術基準（※）」（抜粋）
自動車の外部には、衝突時又は接触時に歩行者等に傷害を与えるおそれのある形状、寸法、方向又は硬さを有するいかなる突起を有してはならない。

- 適応外となる部位
- ・ 高さ 2 m 以上の部分
 - ・ フロアラインより下の部分
 - ・ 直径 100mm の球体が接触しない部分
 - ・ 曲率半径が 2.5mm 以上となっている部分
 - ・ 突出量が 5mm 未満で突起の外向き端部に丸みが付いている部分
 - ・ 突出量が 1.5mm 未満の部分
 - ・ 突起の硬さが 60 ショア（A）相当以下となっている部分



- 対象車種
- 2009 年 1 月 1 日以降に製作・登録された乗用車。
（乗車定員 10 人未満の、専ら乗用の用に供する自動車）
なお、2008 年 12 月 31 日までに製作・登録された車につきましては対象外となりますが、新基準に準拠した取り付けをおすすめ致します。
- ※法規の詳細は国土交通省のホームページをご参照下さい。
- 国土交通省 ホームページ
<http://www.mlit.go.jp/index.html>
>> 自動車交通 >> 自動車ユーザーのみなさまへ >> 保安基準等
- ・ 保安基準等関係基準の各条文検索一覧表〔保安基準〈自動車〉〕(PDF ファイル 758KB)
http://www.mlit.go.jp/jidosha/kijyun/kokujiitou_index.pdf
 - ・ 第 18 条 細目告示別添 20 外装の技術基準 (PDF ファイル 166KB)
http://www.mlit.go.jp/jidosha/kijyun/saimokubetten/saibet_020_00.pdf

取付推奨位置（ご参考例）

- ライセンスプレート（ナンバープレート）周辺等車両ボディの凹部で、ナンバープレートの視認性を妨げない場所。

